学校番号	3025

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校情報Ⅰ（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コンピュータを使いプログラミングやデータを活用した学習など行うことで、情報活用の実践力を養います。また、プログラミングでは、物事を論理的に考え、自分の考えを整理することで、情報の科学的な理解を目指します。
・情報が様々なところで活用されている予測困難な社会で、自分が果たすべき役割をしっかり考え、積極的に情報社会に参加していきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・ネットワークやコンピュータの仕組みについて理解し、適切に活用することができる。
・プログラミングや表計算ソフトなど使い、事象のモデル化やシミュレーションが行える。
【思考力、判断力、表現力等】
・身近な問題を解決するために、問題の発見・データの取集・整理・分析・可視化など行い、データを活用することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規やマナーを守ろうとすることや、情報セキュリティを確保しようとする態度などを含めた情報モラルを養い、情報社会に主体的に参画する態度を持つことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	法規とセキュリティ	・情報の特性 ・著作権 ・情報セキュリティ	a:情報の特性やセキュリティに関する知識を理解し、適切な対策や活用ができる。 b:知的財産が産業や文化の発展に与えている影響について説明することができる。 c:情報の特性についてレポートでまとめようとしている。	・学期末考査	・学期末考査	・レポート
	情報デザイン	・プレゼンテーションソフトの利用	a：プレゼンテーションのためのスライドなどをコンピュータで作成することができる。 b：わかりやすいスライドを作成し、適切にプレゼンテーションを行うことができる。 c：よりよいプレゼンテーションを行うために粘り強く準備をしようとしている。	・スライドの内容	・スライドの内容	・スライドの発表態度
2学期	データの活用	・表計算ソフトの基本 ・データの収集と整理 ・データの分析 ・データの可視化	a:表計算ソフトを使い相関分析や回帰分析などができる。 b:目的に応じてデータ分析の手法を適切に選択できる。 c:データ分析を試行錯誤しながら粘り強く行うことができる。	・授業内の課題	・授業内の課題	・授業内の課題
	コンピュータとネットワーク A/D変換	・アナログとデジタル ・2進数と情報量 ・演算の仕組み ・画像や音声、動画の表現 ・情報のデータ量 ・コンピュータの構成 ・ネットワークの構成 ・情報通信の取り決め	a:音声や画像をデジタル化する原理を説明することができる。 b:2 進数や 16 進数など目的に応じて適切に変換できる。 c:情報のデジタル化について、より深く理解しようとしている。	・学期末考査	・学期末考査	・授業態度
3学期	プログラミング	・アルゴリズムとその表記 ・プログラミングの方法 ・関数を使用したプログラム ・探索と整列のプログラム	a:変数を使用して選択構造や反復構造のプログラムが作成できる。 b:効率的にプログラムを作成することができる。 c:プログラミングに興味を示し、よりよいプログラムを入力しようとしている。	・学年末考査 ・授業内課題 ・授業態度	・学年末考査 ・授業内課題 ・授業態度	・授業内課題 ・授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度